

第2次選考における上下水道料金システムの確認項目

・下記の項目について料金システムのデモンストレーション（以下「デモ」という。）を行い、視認性及び操作性を確認するので、必要なデモ用データを準備すること。

・カスタマイズや代替手段により対応する項目については、具体的な方法や完成後のイメージについて説明を行うこと。

※他社との比較（相対評価）により順位を決定するので、必要なデータが準備できていない場合は不利な評価となるので注意すること。

確認項目	目的	特に必要なデータ
① 使用者の検索	各種情報からの検索方法と検索候補の表示（過去の使用者と現使用者の一覧）を確認する。	同一水栓の3世代以上の履歴
② 調定収入情報 ※照会のメインとなる画面	使用期間、使用水量、調定・未収金額、収納方法等の表示を確認する。	コンビニ収納の仮消し込み中のデータ
③ 収入履歴の検索	各種の収入方法によりどのように情報が表示されるか確認する。	督促及び催告による収入データ、コンビニ収入データ、口座振替の収入データ、一部入金収入データ、分納納付書の収入データ
④ 一部入金納付書の発行	一部入金時の納付書の随時発行について、操作方法を確認する。（特に複数期に跨る金額を入金する際の入力方法）	左記に必要な複数期の未収データ（一部入金となっているデータ含む）
⑤ 滞納者の交渉記録の照会及び経過入力	調定収入情報（メイン画面）から交渉記録の確認画面への移行を確認する。また経過入力の項目や入力手順を確認する。	左記に必要な交渉記録データ
⑥ 分納計画管理画面	分納計画をどのように作成するか、履行状況をどのように表示するかを確認する。	左記に必要な分納計画データ
⑦ 支払方法の変更	納付書発行後（発送前）に納付書払での請求を取り消し、口座振替払に変更する場合の方法を確認する。	左記に必要な調定データ
⑧ 開栓情報の取り消し	開栓する水栓を誤った場合にデータを復旧する方法を確認する。	左記に必要な開栓情報
⑨ 会計システムとのデータ連携	料金システムと会計システムとのデータ連携をどのように行うかを確認する。	調定、収納、振替伝票起票にあたり、左記に必要なデータ。
⑩ その他のデータ強制修正	通常の業務で起こりうるデータの強制修正があれば、修正が必要な項目や操作方法などを確認する。なお、保守の範囲内としSEが即時対応する場合はサポート体制を説明すること。	データ修正メニューで必要となるデータ
⑪ 特徴的な独自機能やサービスの紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・システム機能の拡張性（バージョンアップや他システムとの連携など） ・日常業務に役立つユニークな機能 ・サービスの拡張性 などについて確認する。 	